

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 10 : 宮城県栗原市くりはらし (人口: 71,748人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 東北新幹線: くりこま高原駅下車 (東京から約2時間)
高速バス: 東日本急行 高速バス「仙台、栗原市金成庁舎前線」くりこま高原駅下車
(仙台から約1時間20分)

(2) 事業実施の目的等

栗原市では、これまで約30名の学生の皆さんを受け入れており、参加者の皆さんと一緒に地域の資源を探したり、体験・交流しながら、地域の人々の暮らしを体感する「くりはらツーリズム」のスガタを研究しています。
さらに、グリーン・ツーリズムを始め、ツーリズムに関心の高い市民が学生を受け入れることで、経験や知識を学べる機会とします。

(3) 体験の内容

季節に応じて、農業や林業などの作業や地域の暮らしの行事を体験します。また、地域資源を地元住民やスタッフと一緒に調査します。その他、季節に応じてメニューを設定します。
例: 農作業体験...田んぼ、畑、果樹園等で作業体験 林業体験...森林や竹林等での作業体験
地方の暮らし体験...地方に伝わる家庭の行事や地元食づくり体験 その他...資源調査等

(4) 受入主体

・くりはらツーリズムネットワーク
・花山はっけん塾(民泊受入組織)

(5) 受入期間

8月上旬~9月中旬頃 3泊4日
期間については相談に応じます。

(6) 応募上の注意

| | |
|-------|--|
| 費用負担 | 現地までの交通費: 参加者 宿泊費: 受入主体 食事代: 受入主体・一部自己負担 |
| 要件 | ・大学生、大学院生(都市、地方は問いません) ・地方、田舎に関心のある人 ・インターン終了後も、栗原市を積極的にPRしていただける方 |
| 応募締切り | ・1カ月程度前 各回4~8人程度を予定 |
| 宿泊施設 | ・民泊 ・宿泊施設 |
| 食事形態 | ・受入先で提供 昼食は一部自己負担あり |
| その他 | ・動きやすく、作業できる服装・シューズ(サンダル・ハイヒール不可)をご用意ください |

(7) 地域担当者から一言

栗原市は、面積800平方キロメートルと宮城県内でもっとも広い面積を誇り、その約8割が森林、原野、田畑で占められていて、自然豊かな田園風景が広がる地域です。この広い栗原で、地方の暮らしや歴史・文化、農作業を体験しながら、市民との交流を楽しみましょう。

(8) お問い合わせ先

| | |
|--|--------------------------------|
| 自治体名 宮城県栗原市 | 担当部署 産業経済部田園観光課観光企画係 |
| (ふりがな) さとう こうや | TEL: 0228-22-1151(直通) |
| 担当者氏名 佐藤 広也 | FAX: 0228-23-5370 |
| E-mail: kanko@kuriharacity.jp | |
| URL: http://www.kuriharacity.jp/kuriharacity/contents/work/kankoproject.html | |
| 応募宛先 〒989-5612 | 宮城県栗原市志波姫新熊谷284番地3(JRくりこま高原駅内) |